

稼働一辺倒を見直し、
安全運航、人材確保、
健康で働き続けられる
労働環境に変えよう！

フェニックス

PHOENIX

＜発行者＞
航空安全推進連絡会議 03-3742-9359
日本乗員組合連絡会議 03-5705-2770
航空労組連絡会 03-3742-3251
<http://www.kohkuren.org/>

客室乗務員の役割 認識高めよう



香港でのデモ参加者の解雇撤回を求めアピール

ICA総会に 2つの意見書

ITFキャビンクルー委員会

国際キャビンクルーデーの制定 機内迷惑行為の条約改正を

国際運輸労働（ITF）は9月6日、カナダのトロントでITFキャビンクルー委員会を開催しました。航空連からは秋原幹事他が参加。会議の様子は報告します。

ITFのモントリオール事務所は国際民間航空

のはアルジェリア、アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、フランス、ノルウェー、インド、日本、ケニア、ナイジェリア、ペルー、カタール、スペイン、アメリカ等々でした。

キャビンクルー委員会のICAへの取り組みは、第40回ICA総会（9月24日～10月4日開催）で、ITFが提出する2つの意見書を採択するよう取り組むことです。

1つは「国際キャビンクルーの制定」で、客室乗務員が果たす安全上不可欠な役割への認識を世界的に高めることを目的としたものです。すでに32の航空会社や団体が、毎年5月31日をキャビンクルーの日として取り組みを行っています。

ITFは客室乗務員について、「技術を必要とする専門職であり、客室および乗客の安全・保安の確保の上で非常に重要な役割を担っている」としています。一方で、「客室乗務員には女性が採用される割合が高いが、女性の仕事は過小評価される中で『女性らしいサービス』といった要素に重きが置かれ保安要員とし

KLM 争議支援などを決議

航空連は8月8日、意見書の支持を求め航空局に要請を行いました。このときは、国際キャビンクルーデー制定には賛同を得ており、モントリオールで面談したICA（日本代表部）（外務省）からも同様の返答を得ました。ただし、迷惑行為への条約改正については消極的。今後の取り組みが求められます。

その他、ITFからもキャビンクルーが参加して取り組んでいるICA（安全ループ）の報告、ICA航空運輸規制パネル報告、ITFが継続的にしている各キャンペーンの報告などがあ

ました。キャンベーンは、ITFが国際労働機関（ILO）の協力を得て取り組んでいるカタール航空労働者支援の取り組み、ライオン航空、東南アジアのLCCで働く労働者の権利向上やデルタ航空客室乗務員の組織化に向けた取り組み等です。

加えて、今回の委員会では4つの決議が採択されました。1つは、日本におけるKLMオランダ航空契約制客室乗務員の雇止め撤回・復職を求めた闘いに対する全面的な支援です。委員会前日のレセプションで、航空連代表団の一人である、ジャパンキャビンクルー

■主な記事から■

- ▶19年末闘争一羽田空港の国際線増枠の配分決まる。増便対策待たなし 2面
- ▶ALPA Japan代表がIFALPA LEG C OMM MTGに参加。FRM・飲酒・JAL争議支援など議論2面
- ▶JAL解雇争議一自民党の馳議員「不当解雇問題どうなっているのか」 3面
- ▶ITF加盟で広がる国際連帯。航空連の国際活動を2回に分けて報告 3面
- ▶関空の路面標識の誤認解消へ。安全要請に回答 4面
- ▶AF本国労組役員がKLM原告を激励 4面

労働相談は航空連に
03-3742-3251
e-mail/honbu@kohkuren.org

二つ目は、香港でデモに参加したとして解雇された「香港ドラゴン航空客室乗務員組合」委員長

「ニッコ」 ニッコ現金払い。以前はよく耳にした言葉です。借りるに負い目ができても返ることから貸し借りはせず、現金払いにするやうにしたい。という「商売人の知恵」と言われています。●10月1日から消費税率が8%から10%に引き上げられます。政府は増税による消費意欲低下対策として、クレジットカードや電子マネーなどキャッシュレス決済を使うとポイント還元される制度を打ち出しました。中小店舗で買い物すると税込み価格の5%分の現金に相当するポイントが戻るもので10%の消費税込みの100円の商品を買えば、ポイント還元は55円で実質104.5円。消費税率8%の108.0円より負担が減る計算です。しかし、還元期間は10月から来年6月末までの9か月間限定。大手スーパーや百貨店は対象外。●還元制度を申請する店は全国で200万店。10月のスタートに間に合うのは約3割の95万店ほど。政府が言はばポイント還元があるかは透明。そもそも「ニッコ」現金払いの人はポイント還元もなければ損出しきもの。キャッシュレス決済の馴染みが薄く、少なからぬ人々が取り残されている。幼児教育無償化やポイント還元が強調されていますが、負担はシフトし重そう。

「ニッコ」 ニッコ現金払い。以前はよく耳にした言葉です。借りるに負い目ができても返ることから貸し借りはせず、現金払いにするやうにしたい。という「商売人の知恵」と言われています。●10月1日から消費税率が8%から10%に引き上げられます。政府は増税による消費意欲低下対策として、クレジットカードや電子マネーなどキャッシュレス決済を使うとポイント還元される制度を打ち出しました。中小店舗で買い物すると税込み価格の5%分の現金に相当するポイントが戻るもので10%の消費税込みの100円の商品を買えば、ポイント還元は55円で実質104.5円。消費税率8%の108.0円より負担が減る計算です。しかし、還元期間は10月から来年6月末までの9か月間限定。大手スーパーや百貨店は対象外。●還元制度を申請する店は全国で200万店。10月のスタートに間に合うのは約3割の95万店ほど。政府が言はばポイント還元があるかは透明。そもそも「ニッコ」現金払いの人はポイント還元もなければ損出しきもの。キャッシュレス決済の馴染みが薄く、少なからぬ人々が取り残されている。幼児教育無償化やポイント還元が強調されていますが、負担はシフトし重そう。

IFALPA イスラエルで LEG COMM MTG ALPA Japan代表が参加



課題について議論する参加者

日乗連の各委員会は国際定期航空操縦士協会（IFALPA）世界のパイロット10万人加盟を構成している各専門委員会として、9月10日

今回の委員会では、長年ALPA Japanの取り組み、とりわけJAL解雇案の解決支援に力を注いできたドイッタル出身委員長や米国ALPA出身副委員長などの役員が退任し、LegationにはイスラエルALP

11日にイスラエルのエルサレムで開催されたLegation Meeting（LEG COMM MTG）に出席した馬場日乗連（Legation）（法務委員会）委員長に概要を伺いました（詳細は日乗連ニュース参照）。

今回の委員会は、ALPA Japanからの以下の4つの課題についての議論です。

①日本における少子高齢化問題と現場人員の不足と航空局による日本版FRM発効を含めた現状報告、世界情勢との比較。

②JAL解雇問題の現状報告と国土交通大臣並びにJAL経営者、IFALPAステートメントの発行要請（今回で第4次要請書となります）。

③日本におけるアルコ

④精密化が進んでいるフライトデータの、事故インシデント等、事故調査以外の利用拡大の懸念状況報告と世界情勢確認。

⑤③に関しては、情報をさらに集約し、今年11月12～14日に東京で開催されるIFALPA HUPERCOMMITTEE Meeting（HUPERCOM MTG）にて詳細が議論される予定です。②に関しては委員会の了解が得られ、現在発行手続きがIFALPA本部にて進められています。④に関

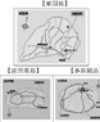
してはワーキンググループが立ち上がり、IFALPA対応が行われています。その他全体的課題として、①航空事業の環境変化に対応したIFALPAマニュアルの改訂、②9月末に開催されるICAO会議への対応状況、③無線操縦航空機や完全自立無人航空機（一人乗り航空機）への対応、④ヨーロッパ、南米、北米、それぞれの航空経済状況と労働状況、⑤女性乗員特有課題の対応、が議論されました。日乗連Legation委員会は引き続き加盟各組合と調整を取りながら、数々の課題に取り組んでいきます。

握書は沖

早期に那覇～栗国路線再開を実現するための提言

航空労組連絡会

2019年9月11日



外利用者にとって大変難しく、テラアビア行き乗りの際、搭乗前に一対一の面談がありまし

国際線増枠の配分決まる

羽田空港の国際線増枠配分（便数）

国名	相手国企業	ANA	JAL
アメリカ	12	6	6
中国	4	2	2
ロシア	2	1	1
豪州	2	1	1
インド	1	0.5	0.5
イタリア	1	1	—
トルコ	1	1	—
フィンランド	1	—	1
スカンジナビア	1	1	—
合計	25	13.5	11.5

※インドは、昼間枠はANA・JALともに0.5便、深夜枠は0.5便。昼間+深夜＝1便

首都圏空港発着枠拡大に伴う成田空港の飛行時間制限短縮が10月27日の

冬ダイヤから運用が始まり、羽田空港の発着枠拡大に伴う国際線増枠配

全日空13.5便 日航11.5便 一時金や増便対策急務



分、国内線の回収・再配分が決定しました。年末闘争では一時金はと

求められます。

国交省は9月2日、羽田空港の発着枠拡大に伴う国際線増枠配分と国内線の回収・再配分を発表

しました（表参照）。本邦航空会社の国際線配分は全日空が13.5便、日本航空は11.5便となり

です。具体的便数は決まったことで、各社では路便計画に合わせた人員や器材など、生産体制の準備が進められます。

飛行制限時間の短縮運用が始まる成田空港の冬ダイヤ。全日空は成田・チェンマイ・ウラジオストクの2路線を新規開設

し、アジア路線を中心に機材変更、貨物便の成田・シカゴを新規開設（週3便）します。日本航空は成田・ホノルル線に機材変更、成田・モスクワ線を増便（週4便→週7便、成田・ホーチミン、ジャカルタ線を減便（週7便→4便。而社とも

日航ユニオンによると、JALでは機材部門の勤務を見直すための準備が進められています。資格者不足を懸念しており、年末交渉は一時金に加え、人事・勤務問題を中心テーマに据えたいと述べています。

航空連

那覇～栗国路線の再開を

沖縄県に提言書

航空連は9月11日に沖縄県を訪問し、連休中の那覇～栗国路線の再開を求めたものです。

提言は3つ。①公共交通機関としての航空輸送を担う航空会社は、質の高い就航能力を有する航空会社を選定することが必

「栗国村を訪問されたが、彼ら島民への訪問する予定はあるのか」などの質問が出されました。航空連は離島航空の拡充を求め引き続き取り組みを行っていきます。

しており、9月から専門学校生を研修生として受け入れています。グーハンのハンドリングを行うJGSは20年度の採用は100名、200名の人員が必要と話しま

間近に迫る大増便対策や、時金の引上げなど、19年末闘争は重要なたたかいになります。

「不当解雇問題 どうなっているのか」

馳議員がJAL部長に質問 「長過ぎるのは良くない」

9月18日 都内

JAL解雇争議

内閣連立大学で東京オリンピック・パラリンピック組織委員会と国際労働機関（ILO）の共同によるサステナブル・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）実現に向けて、企業や市民がどのように取り組んでいくべきかが議論されました。第一部では、JAL人財本部人財戦略部の福家（ふけ）部長がモデレーターとして出席し、「労働CSRの現場での実践に向けて」と題して発言しました（CSR：企業の社会的責任）。



早期解決求めJALプラザ前で宣伝行動。9月19日、東京有楽町

福家部長は、日本航空が昨年5月に「整理解雇問題の解決に踏み出す」との見解を表明し始めた後、特別協議の会社側の責任者であり、ディレクター・ワークや企業責任についてどのような発言をするのかが注目されました。発言は、JALの女性活躍推進やLGBTへの理解促進、安全意識を大前提にフィロソフィーと個別採算性の考え方で企業価値を高める取り組みなどが紹介されました。ところが発言後に思わぬ展開が待っていました。

フォーラムには組織委員会関係者や国会議員、企業、労働関係者も参加。その一人でオリンピック・パラリンピック組織委員会の評議員である馳（ち）浩二議員（自民党）は福家部長に、「いわゆる不当解雇問題などについて現状はどうなっているのか。大変関心がある。この問題があまり長過ぎるのは良くないと思う。見ていて」と質問しました。福家部長は破綻と人員削減に至った経緯の説明に引き続き、「裁判は最終しているが、支援する皆さんと協議が続いている。労働組合とも協議を続けているが、なかなか合意に至らない部分もあり争議が続いている。解雇された方も含め、かつて会社に在籍された方を対象に、再雇用の募集を続けているが、再雇用につながらない。引き続き会社としても何かできることはないかと協議をしながら考えていく」と答えました。馳議員の質問は、組織委員会として、オリパラの公式スポンサーであるJALでの解雇問題を注視していることを示しました。当日はフォーラムの開催にあわせ、国連大学前でJAL争議団による「JALは争議を解決し、オリパラ公式スポンサーに相応しい責任ある対応を」とのアピール行動が行われました。

昨年5月に解雇争議解決に向けて始まった労使の特別協議は12回開催されました。協議で日本航空が提示したのは、経験者再雇用や格安航空の募集、雇用機会の提供のみで、労働組合の統一要求である職場復帰や解決策には答えていません。今年6月の株主総会でも解雇争議の解決を求めた株主に赤坂社長は、「他に方法がないか考え続ける」と解雇争議がまだ解決していないことを認めました。日航系組（JFU）と日航キャビンクルーユニオン（CCU）は合同で社長出席の団体交渉を申し入れていますが、特別協議などを理由にJALは拒否しています。

19年末闘争は10月半ばから労使交渉がスタートし、11月22日を山場として、取り組まれている。例年、年末闘争期間内で社長出席の経営協議会も開催されます。争議団は「10回目の大晦日は迎えられない」と宣言し、解決への道筋を確かめるものについて、当該組合・支援者と一緒に頑張ります。

（緊急の取組）
▼JAL宛て要請FAX
「統一要求を踏まえた解決につながる回答を示せ」。期間：10月28日～11月4日
▼国会議員への協力要請
▼2020東京オリンピック・パラリンピック組織委員会宛の要請書
問合せ先：JAL争議団事務局03-5705-15716

ITF加盟で広がる国際連帯



ITE世界大会で発言するエミレーツ航空解雇争議のSNW・石田分会長。昨年10月

生きた国際情勢を吸収

航空連帯の国際活動

航空連帯が国際連帯労働（ITF・組合員1970万人）加盟して5年が経過しました。ITF加盟により航空連帯の国際活動は飛躍的に広がり、国際的な連帯も前進しました。1年間の活動の成果や課題などを向けに報告します。

国際会議等（表参照）

の場は生きた国際情勢を学ぶ場でもあります。シンガポールで開催されたITF世界大会には過去最高の参加があり、最高級の参加者たちが世界の交通労働者が同じ思いで一堂に会していることを実感しています。

アジアでLCC台頭
アジア地域におけるLCCは急拡大する一方、多くの地域で労働組合の関与が少なく、あるいは全くないうち状況に対する懸念が示されし。今後、この点を重視した取り組みが予定されており、航空連帯も注視する必要があります。

AI：デジタル化対応
AI・デジタル化などの技術革新への対応の必要性も重要な課題です。

労働者は進化を遂げるテクノロジーに対応し、それに慣れる柔軟性を身につけること、労働組合のギグ経済（※）への対応及び政府の協力の必要性が紹介されました。その現状を確認するためチャンギ国際空港を訪問。出入国のIT化を始め、チェックイン業務、搭乗券の発行、手荷物タグの自動化、査証確認等出国審査の予備業務の自動化、手荷物の重量・容積計算の自動化、ウェイトアンド

一方、直接雇用から外注化に変わったことにより労働者が断絶されていること、低賃金・低労働条件が目立つようになり、低賃金・低賃金として時給15ドルの取り組みが紹介されました。会議中には、米上院議員のバーニー・サンダース氏が演説し、富が1%の富裕層に、貧困が99%の中間層と貧困層に集中している現状が語られるなど、政治に直接的な影響を与えようとするIAMの取り組みの一端がうかがえました。航空連代表とIAM142地区航空輸送部門委員長との懇談が実現し、自営整備体制の重要性や、今後も緊密に情報交換をすることで合意しました。

※（ギグ経済）インターネットを利用して単発の仕事を受注する非正規労働とそれによって成り立つ経済形態）

国際活動	主な実績と予定
33期活動実績	活動実績グローバル・オブ・ディ・アクション（2018年10月2日） ITF第44回世界大会（同年10月14日～20日） ITF民間航空部会グラッドスタッフ委員会（2019年2月27日～28日） IAM北米運輸会議（同年4月8日～11日） IAMデルタ航空組織化キャンペーン（同年6月7日） ITF・LCCワークショップ（同年7月29日～30日）
34期予定	ITF民間航空部会キャンペーン委員会（2019年9月4日～6日） ICA0第40回総会（同年9月28日～10月4日） ITF民間航空部会グラッドスタッフ委員会（2020年）

上を参考にすることが必要になります。

ITFグラッドスタッフフアス

アメリカ・インド・モロッコの加盟組合から、外注化によって低賃金状態の労働者が増加し資格を取る人が減少していること、契約制労働者の雇用主が在港の航空会社か、航空会社のか不明な実態が増加していることなど、各国でランドハンドリング（地上業務）がおかれている現状が明らかとなりました。

AM北米運輸会議

IAM国際宇宙航空産業機械工組合・組合員約70万人の中心の取り組むこと4.2万名のデルタ航空の組織化の取り組みの他、最低賃金として時給15ドルの取り組みが紹介されました。会議中には、米上院議員のバーニー・サンダース氏が演説し、富が1%の富裕層に、貧困が99%の中間層と貧困層に集中している現状が語られるなど、政治に直接的な影響を与えようとするIAMの取り組みの一端がうかがえました。航空連代表とIAM142地区航空輸送部門委員長との懇談が実現し、自営整備体制の重要性や、今後も緊密に情報交換をすることで合意しました。

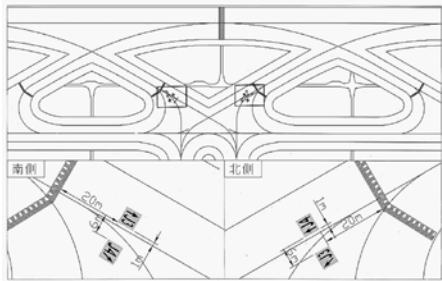
安全会議だより 124

路面標識の誤認解消へ

関西エアポート

安全要請に回答

航空安全会議大阪支部では毎年5月から6月にかけて、大阪航空局・大阪気象・関西エアポート・八尾空港長に対し



関空のJ3・J4標識

て、安全ネットの関係項目を主とした要請行動を実施しています。今年度の要請で特に成果が見られた、関西エアポート

への要請行動をお伝えします。

2019年5月17日、関西エアポートを伊澤大坂支部議長他12名が訪問。関西エアポート側は関係者20名が対応しました。

関西空港関連では「オペレーション車両へのスキップ（車両用のトンネル）」「道路（トンネル）」「道路（トンネル）」「道路（トンネル）」など9項目を要請しました。オペレーション車両へのスキップ搭載については「今年車両を更新するので搭載する。これから手続きを進めることである。また、航空灯火

作業用の車両にも搭載を検討中である」との具体的な回答を得ることができました。関西タワーの管制官一同がこれまで強く望んでいた要求項目であり、大きな成果です。

また、J3、J4誘導路の誤認解消については「路面標識のマーキングを検討する」との回答があり、約2カ月後の7月25日に別図の標識が施されました。毎年要請している「草が伸びてサインボードが見づらい」については、「昨年よりR誘導路周辺のサインボードに樹脂製マットを設置したところである。今後対象エリアを拡大して設置していく」との回答を得ました。

大阪空港関連では、主に誘導路のマーキングの改善（複数箇所）について要請しました。これらの要請についても8月末現在で、すでに改善着手されています。

KLM、労働審判に異議申し立て



左から、酒井JCU書記長、萩原航空連幹事、サラ・ネルソンAF委員会委員長、テラー・ガールランドAF交渉担当

前号で、KLMオランダ航空の契約日本人客室乗務員（JCU）組合員3名が無期転換を求め労働審判に申し立てた事件で、東京地裁が無期転換を認める審判を下したことを報告しました。

AF本国労組役員、KLM原告を激励

その後KLMは9月2日、東京地裁の審判に従わず異議申し立てを行いました。これによって3名の雇用継続については、1陣り陣の28名にも引きつづき裁判で争われることになりました。JCUは「KLMの異議申し立ての狙いは、労働審判に従った場合、先行する無期転換裁判に影響することを恐れ、単なる引き延ばしにほかならない。このようなKLMの姿勢は、企業の社会的責任からいっても許されない行為」と厳しく批判します。

9月5〜6日、モントリオールでITFキャビンクル委員会が開催され、KLM無期転換裁判を闘うJCU組合員を支援する特別決議を採択しました。この決議は当事

仕事・友人・親子の確執…悩みを解きほぐす

橋本治のかけこみ人生相談

橋本 治 著



労働組合の役員を長くやっていれば、いろいろな相談を受けます。職場のハラスメント、労働条件・人間関係から生活相談、住宅融資

の相談から家庭の問題まで様々です。問題は解決したり、しなやかに大変です。こうちもこうした方がいいか相談したいな、と思い



ながう、本屋でこの本をばらばらとめくりました。そしてあるページで「ほろり」としてしまいました。【お悩みの幸せそうな姿が我慢できません。問題の多い家庭で育ち、いじめ引きこもり10年

以上の非正規労働を経た昨年会社員になりました。略す「目録」に陥ってしまいました。【39歳男性回答】「上から目線かもしれませんがあんなに立派です。あなたの努力は尊敬に値します。あなたに自己憐憫なんかは不要です。自分の生き方に胸を張って誇っていいのです。略この回答全文読んだら質問者は絶対自信を持つ

上記以外にも、昨年の台風被害をまて今年に安全アンケートをもとに更なる安全のための改善を求めています。

ができました。来年も、安全アンケートをもとに更なる安全のための改善を求めています。

われ感動した。

日本国内では9月19日に東京地裁（72団体38万人）争議支援総行動が取り組まれ、都内赤坂のKLM日本支社前には多くの支援者が駆け付け、雇止め撤回・職場復帰を求めました。日本支社には支援者代表による要請も行われました。

KLMの無期転換を許さず、契約制日本人客室乗務員の雇止め撤回・復職を求める闘いは国内でもより国際的な支援を要請する。

会議に参加したKLM原告は「エールフランス航空労組役員から君たちの問題は僕も東京でアムステルダムだけの問題ではなく、今日から国際問題に発展した。助け合うためにこそ各国から集まっている」と言

けんぴむ

9月も下旬を迎えてテレビや新聞広告がやまやまとなつていきます。「消費税導入まであとX日」「緊急号外！ 衝撃の価格、お急ぎください、今買えば高額商品券プレゼント！ など、購買意欲をそそぐのです。

我が家でも連れ合いが「買い占めておくものがあるかな」。そのあとで「高ハものはだめよ」と私の4Kテレビ

購入家は暗に拒否の姿勢です。妻の頭には「と化粧品、トイレペーパー、入浴剤、酒などの生活必需品が頭に渦巻いているのじゃないか」。

また、ネット上では「被災した千葉県に航空会社が神対応。社員員の提案で除害車事業を老人福祉施設に派遣して入浴のために給湯して喜ばれたそうです。こういうニュースはうれしいです」。

ね。

ね。